

12/6 24期

老朽原発このまま廃炉 大阪で集会



デモ行進し市民にアピールする参加者ら11月5日、大阪市西区

「老朽原発このまま廃炉! 済み核燃料の蓄積、重大事故大集会inおおさか」が5日、大阪市の西淀川区(うづぼ)公園で開かれました。主催は同実行委員会。約1600人が参加し、集会後、デモ行進し市民にアピールしました。集会では、原子力発電に反対する福井県民会議の中島哲演(なかしま・てつえん)氏が主催者あいさつ。「原発を動かさない運動をつくりだしていこう」と参加者に呼びかけました。

実行委員会の木原壯林(そらうりん)氏が集会アピールを提案。木原氏が「原発は使用

済み核燃料の蓄積、重大事故時の避難の困難さ、トラブルの多さ、耐震性の低さ、発電コストの高さ、電力会社の企業倫理のいずれの面からも、稼働を容認できません」「老朽原発を廃止に追い込み、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しましょう」と訴え、参加者から「そうだ」の声が上がりました。

集会には、野党各党関係者も参加。日本共産党からは、たつみコータロー(辰日孝太郎)前参院議員・大阪選挙区候補が参加し、紹介されました。